

2005年(平成17年)3月31日(木曜日)

豊川市と蒲郡市に

救命機器を寄贈

豊橋ハートセンター

豊橋市大山町の病院

「豊橋ハートセンター」



寄付されたAEDの使い方を鈴木孝彦院長(右)から聞く

金原市長(左)蒲郡市役所で

(鈴木孝彦院長)は三十日、心臓疾患による突然死を防ぐ救命機器「自動体外式除細動器(AED)」を豊川市と蒲郡市に四台ずつ寄贈した。

高円宮さまの突然死などを機に、昨年七月から医療関係者以外でもAEDの使用が可能になり、普及が進んでいる。AEDは心臓停止の患者に電気ショックを

与えて蘇生(そせい)する。

豊川市消防本部は今年度、AED四台を購入する計画で、救急隊員らが訓練してきた。同市は寄贈と合わせ、一台を市総合体育館に、残る七台を七消防署・分署の消防車に配備する。

また、蒲郡市役所で同日開かれた寄贈式では、鈴木孝彦院長が金原久雄市長に操作方法を説明。市職員向けの取り扱い説明会もあった。センターはこれまで新城市などにも贈っている。